集会

スマートメーターは要らない！

健康影響、プライバシー侵害を考える

日　　時　2016年**２月２７日(土)１３時４５分**
～１６時半（開場１３時１５分）

場　　所　**文京シビックセンター**４階シルバーホール

文京シビックセンターは　文京区役所も入っているビルです。東京メトロ（旧営団地下鉄）後楽園駅４ａ・５番出口から徒歩１分。都営地下鉄春日駅文京シビックセンター連絡口から徒歩１分。ＪＲ水道橋駅東口から徒歩９分

内容・報告者（敬称略）

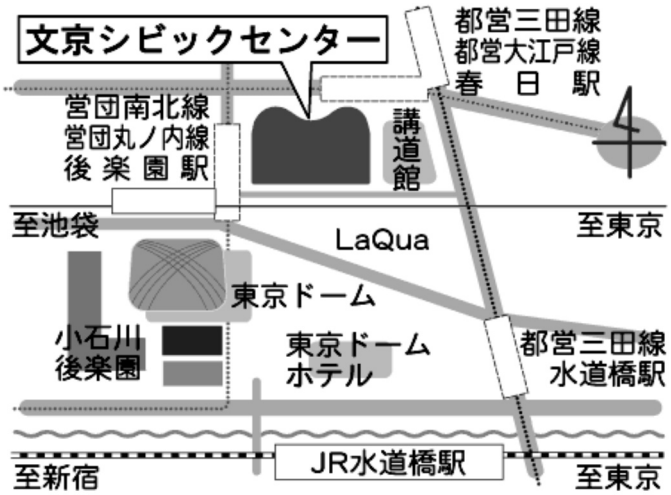
「スマートメーターとは何か、その問題点」
網代太郎（電磁波問題市民研究会事務局）

「スマートメーターの電磁波測定結果」
鮎川哲也（電磁波問題市民研究会事務局）

「スマートメーターによる健康被害を受けて」
東麻衣子（アナログメーターの存続を望む会）

「スマートメーターを設置した東電との闘い」
渡邊幸之助（電磁波問題市民研究会会員）

主　　催　電磁波問題市民研究会
協　　賛　ＮＰＯ法人市民科学研究室
参加申込　不要（当日直接会場にお越しください）
資 料 代　１０００円
問い合わせ　大久保（電話０４７－４０６－６６０８）
または、http://dennjiha.org/ からメールで



（裏面もご覧ください）

■開催趣旨

各家庭等の電気メーターが次々に「スマートメーター」に交換されています。**国は全ての電気メーターを２０２０年代の早い時期までにスマートメーターへ交換する方針**です。スマートメーターは通信機能を持ち、各家庭等の電気使用量データが３０分おきに電力会社側へ送信されます。これにより、節電意識の向上や、従来よりも細分化した料金メニューの提供、電気使用量データを活用した新しいビジネスなどが可能になると、国などは述べています。

しかし、**ほとんどのスマートメーターは電波（電磁波）によって通信**します。**携帯電話からの電波など、国の基準を下回る強さの電波を浴び続けることで、がんになるかもしれないと「国際がん研究機関」は表明**しています。また、環境中の電磁波に反応して様々な症状が出る「電磁波過敏症」の増加も懸念されます。**米国などでは、スマートメーターによる健康被害の訴えが多く出ています**。

また、**３０分ごとの電気使用量データが知られることはプライバシーの侵害であり、この情報が漏れたら空き巣などの犯罪にも巻き込まれかねません**。

さらに、電力自由化により小売業者を変更する場合は「スマートメーターの設置が必要」と説明されます。しかし、**小売業者変更のためにスマートメーターが必要になる技術的な理由はなく、政策上の理由から小売業者変更に乗じて押し付けているだけ**です。

スマートメーターとは何か、そして、その問題点を考えてみませんか？

改善した電磁波過敏症がスマートメーター設置後に悪化した東さんが、大阪からお越しくださる予定です。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

●報告者紹介

網代 太郎　電磁波問題市民研究会会報編集担当。母親が化学物質過敏症を発症。自宅近くでの東京スカイツリー建設を契機に電磁波問題に取り組む。

鮎川 哲也　電磁波問題市民研究会測定担当。自身が電磁波過敏症。

東 麻衣子　大阪府在住。2004年に受動喫煙症、2007年に化学物質過敏症、電磁波過敏症を発症。ふくずみアレルギー科に通院し、寛解状態まで回復するが、2015年2月に関西電力によりスマートメーターを設置され電磁波過敏症が悪化。自宅に住めなくなり実家に避難中「アナログメーターの存続を望む会」を立ち上げ、署名活動を開始する。現在は自宅と両隣のスマートメーターを従来型のアナログメーターに変えてもらい自宅に戻れるようになった。

渡邊 幸之助　1971年生まれ。神奈川県相模原市緑区在住。電磁波を気にするようになったのは、実家の近くで、高圧送電線の影響で健康被害が出ているのではないかという報道をテレビで目にした頃からでしょうか。以来、自分なりに気をつけていたつもりでしたが、スマートメーターを知らなかったのは迂闊でした。地元をリニア中央新幹線が通ることになり、電磁波やリニアの問題に関心を持っています。

■お願い

当日は電磁波・化学物質過敏症の方々が参加されます。会場内および周辺では携帯電話等の電波が出る装置の電源をオフにしてください。

また、以下はお控えください。

○香りが強い化粧品・香水等の使用

○香りが強い洗剤・柔軟剤を使った衣服の着用

○防虫剤のにおいが強い衣服の着用